

釧路市道路付属物个别施设计画

(横断歩道桥・门型标识)

令和4年 10月

釧路市都市整備部

目 次

1. 計画対象施設の現状と課題
2. 健全度の把握に関する基本方針
3. 日常的な維持管理に関する基本方針
4. 老朽化に関する基本方針
5. 新技術に関する基本方針
6. 費用縮減に関する具体的な方針
7. 対象施設の概ね次回点検及び修繕内容・時期

1. 計画対象施設の現状と課題

(1) 現状と課題

令和4年9月現在、釧路市が管理する横断歩道橋は1箇所、門型標識は1箇所です。建設後の経過年数は、横断歩道橋が55年、門型標識が14年となり、定期的な点検による状況把握、点検結果に基づく対策が必要です。

(2) 計画対象施設

計画対象施設の諸元は下表のとおりです。

【釧路市 横断歩道橋・道路付属物一覧表】

| 構造物の諸元 | | | | | | |
|--------|--------|------|------|-----|----------------|----------------|
| 施設名 | 路線名 | 建設年 | 施設長 | 幅員 | 所在地 (起点側緯度) | 所在地 (起点側経度) |
| 旭横断歩道橋 | 久寿里橋通 | 1967 | 46.7 | 1.5 | 42.986944度 | 144.388889度 |
| 道路標識 | 星が浦西通1 | 2008 | | 30 | 43.012222度 | 144.308055度 |

2. 健全度の把握に関する基本方針

管内の道路付属物の特性、現状についての情報をもとに、近接目視による5年に1回の定期点検を実施し、診断結果の健全性をIからIVまで区分けすることで、対策の必要性を明確にします。

3. 日常的な維持管理に関する基本方針

日常パトロール及び維持工事を行うことにより、日常的な維持管理を実施します。

4. 老朽化に関する基本方針

予防保全型の管理を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

5. 新技術の活用方針

点検や修繕を効率的に行うため、新技術の活用を積極的に検討します。

6. 費用縮減に関する具体的な方針

【横断歩道橋】

令和9年度までに実施する点検や修繕について、管理する1橋に新技術を導入することにより、20万円のコスト縮減を目指します。

なお、老朽化が進み架替えが必要となる場合には、地域の実情や利用状況等を考慮し、更新または撤去の検討を行い、維持管理コストの100万円程度縮減を目指します。

【門型標識】

令和9年度までに実施する点検や修繕について、管理する1施設に新技術を導入することにより、20万円のコスト縮減を目指します。

7. 対象施設の概ね次回点検及び修繕内容・時期

下表のとおりです。

【釧路市 横断歩道橋・道路付属物一覧表】

| 構造物の諸元 | | | 直近における点検結果及び 次回点検年度 | | 対策内容 補修内容 (主な措置内容) | 対策の着手 完了予定年度 | | 対策に係る 全体概算事業費 | |
|--------|--------|------|------------------------|------|------------------------------|-----------------|--------------|------------------|----------|
| 施設名 | 路線名 | 建設年 | 点検結果 | | | 次回点検年度 | 着手年度 | 完了年度 | 補修費用(百万) |
| | | | 年度 | 判定区分 | 0.5 | | | | 1.0 |
| 旭横断歩道橋 | 久寿里橋通 | 1967 | 2021 | Ⅲ | 2026 | 2026 | 2026 | 1.5 | 1.5 |
| 門型標識 | 星が浦西通1 | 2008 | 2021 | I | 2026 | 2026 2031 | 2026 2031 | 0.5 0.5 | 1.0 |

※健全度判定区分凡例

- I・・・構造物の機能に支障が生じていない状態
- II・・・構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
- III・・・構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
- IV・・・構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

●事後保全型：損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きく多大な費用が必要になります。

●予防保全型：損傷が小さいうちに対策を行うため、施設寿命が長くなり修繕費用を最小限に抑えられます。

●ライフサイクルコスト（LCC）：供用期間内に発生する全ての対策費用を合計した費用を言います。この費用が低くなるような管理を実施することで、長期的な視点で経済的な管理を実現できると言えます。